

令和5年12月20日
記者発表

和歌山県生成 AI 利用ガイドラインの策定について

生成 AI の有効な活用方法や使用時に守るべきルールなどについて、行政企画局を中心に庁内の複数課室で研究を行ってきました。

その結果、安全な環境下で、適切に生成 AI を活用することは、業務効率化に大きく寄与するとの実証結果が得られました。（実証結果は参考資料のとおり）

これらの検討結果を今回、別紙のとおり「和歌山県生成 AI 利用ガイドライン」にとりまとめました。

今後、本ガイドラインにもとづき、生成 AI を活用した業務の効率化に取り組んでいきます。

ガイドラインの概要

○職員の利用環境

- ・業務で利用可能な生成 AI サービスは、安全性が確保された契約済みサービスに限定
- ・不特定多数の利用者に対して提供される、画一的な約款や規約等への同意のみで利用可能となる生成 AI サービスは使用しない

○データ入力時の遵守事項

- ・和歌山県情報公開条例第7条に定める「非開示情報」（個人情報、審議・検討中の情報等）の入力禁止

○生成物を利用する際の遵守事項

- ・生成 AI を利用して作成したことが分かるようにし、内容の正確性や妥当性を複数人で確認
- ・著作権などの権利侵害に注意する
- ・生成物をそのまま使用せず、加筆修正する

○生成 AI の利用

- ・有効な活用分野やプロンプト（命令文）作成のコツ、活用事例集を掲載し、庁内の利用を促進

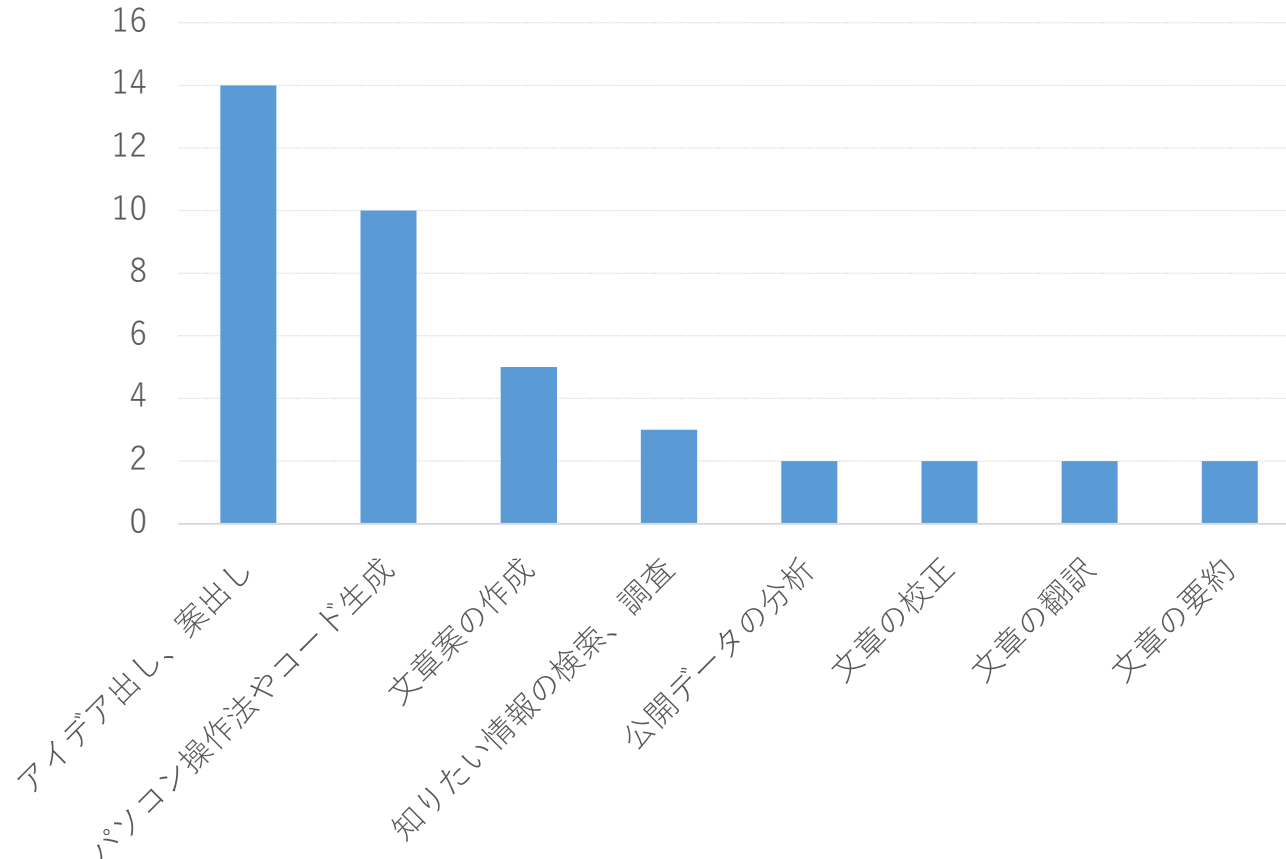
担当者	行政企画課 奥西、柏木
連絡先	073-441-2416

生成AI活用実証結果①

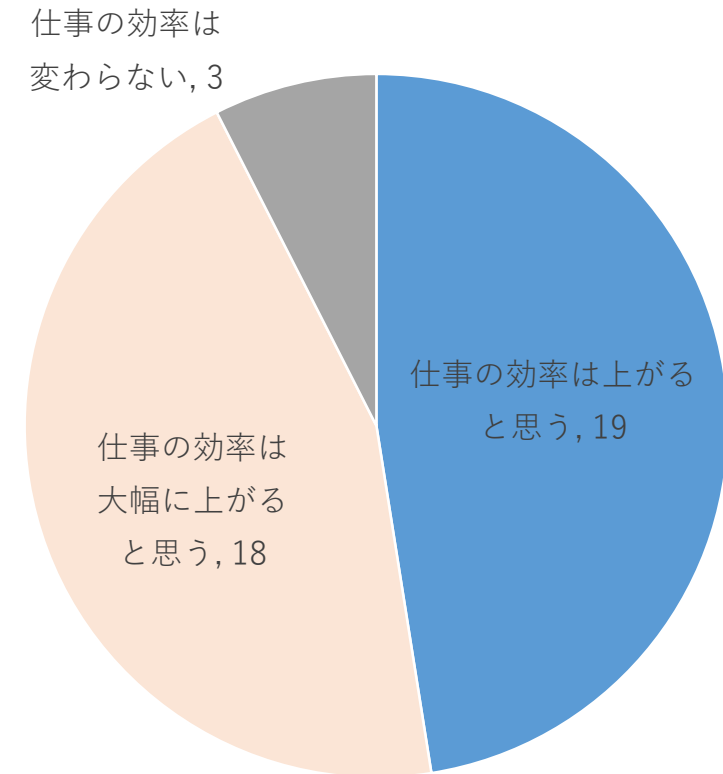
参考資料

【実証期間】 令和5年8月8日（火）～令和5年11月13日（月）
【対象所属】 総務部行政企画局 その他7課
【回答件数】 40件

利用した業務内容



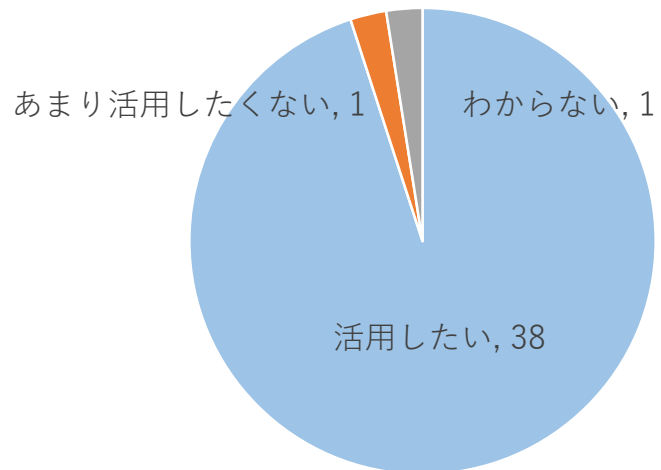
生成AIを利用して仕事の効率が向上すると思うか



約9割が仕事の効率が向上すると回答

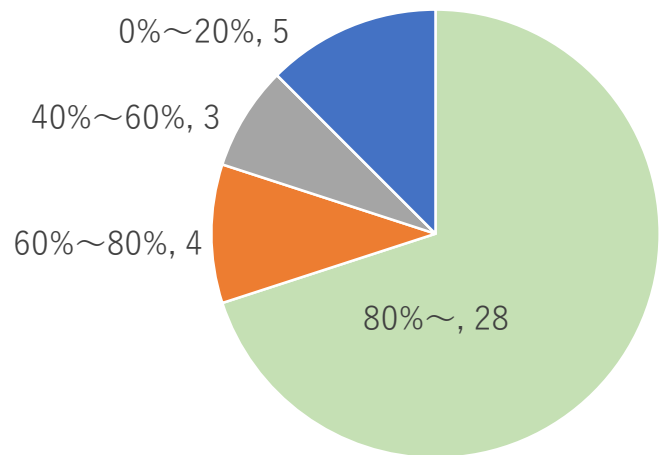
生成AI活用実証結果②

今後も生成AIを業務に活用しようと思うか



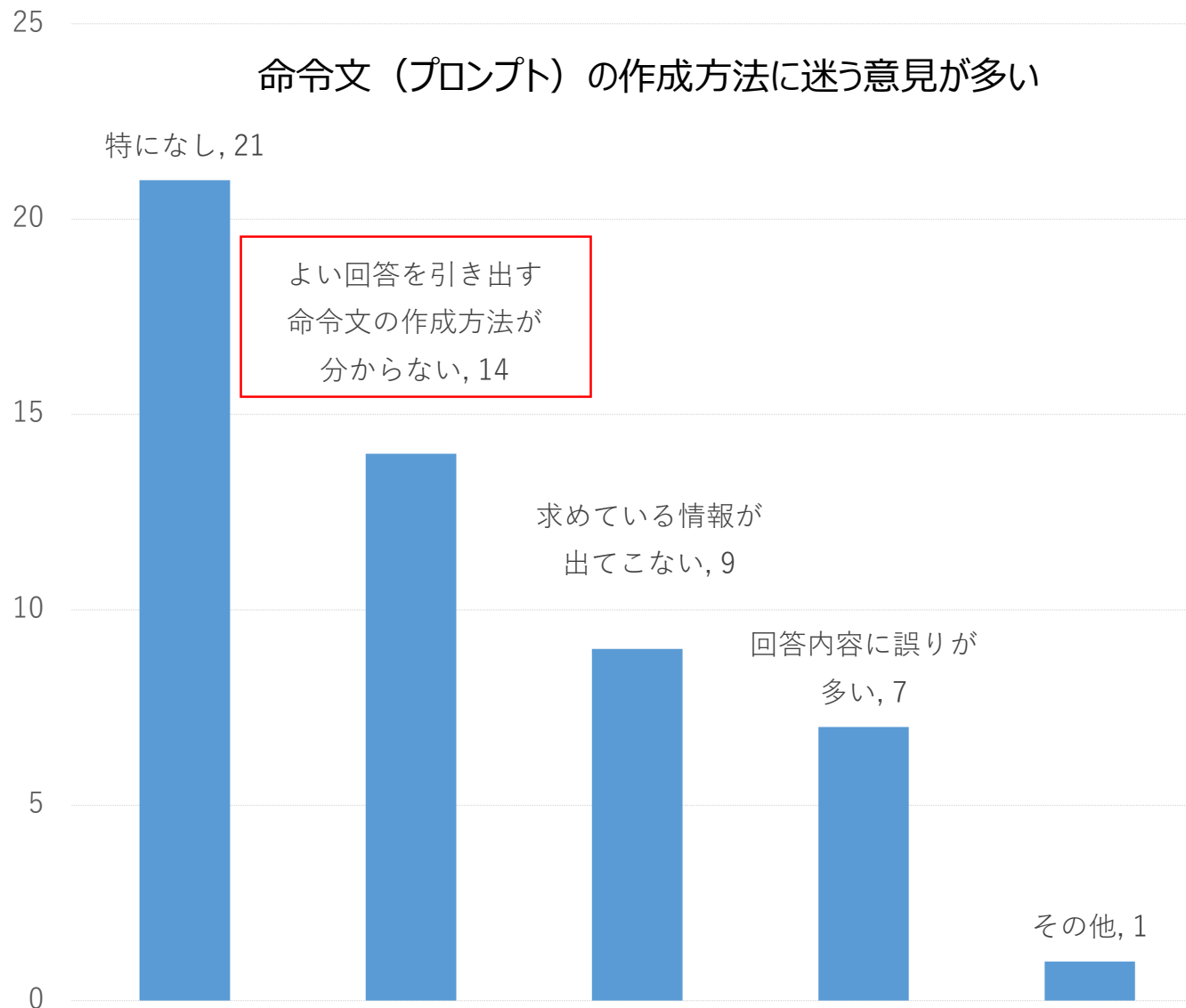
大半が今後も生成AIを活用したいと回答

業務時間の削減割合（見込）



大半において顕著な業務時間の削減効果を確認

生成AIを利用する上での課題・問題点



命令文（プロンプト）の作成方法に迷う意見が多い

ê P f _ ^ T Al d = ^a ç Ç ç ç ñ

« ê ç 12 F

